

大阪維新の会・橋下代表にも申す!

桜宮高校体罰問題であれほどの断罪しながら、なぜ「体罰&セクハラ教師」と報道された中野氏を公認したのか!!

2月の柏原市長選には、中野氏の応援に、橋下徹代表から大阪維新の会のメンバーたちが応援に駆けつけた。桜宮高校の体罰問題の教師を懲戒免職にし、体育科の入試を取りやめるなど、断固とした手段をとった橋下徹代表がなぜ、「体罰&セクハラ教師で中学校を辞めざるをえなかった中野氏」を大阪維新の会で公認したのか!!

桜宮高校の教師は懲戒免職なのに、中野氏はなぜ、大阪維新の会を公認されたのか?

体罰&セクハラ教師の中野隆司氏が当選した。中野氏は、大阪維新の会の公認。柏原市長選には、橋下徹代表や東園原英夫衆議院議員も応援に駆けつけた。



しかし、こんな「体罰&セクハラ教師」であった中野氏を公認するなどと、橋下氏は、いったいなにを考えているのか問いたい。大阪市立桜宮高校のバスケットボール部の主将であった生徒の自殺事件は記憶に新しいところである。その原因は体罰が理由である。顧問教師を懲戒免職にし、体育科の入試を中止にしたばかりの橋下氏が、生徒を殴ったり、セクハラ発言をしたりした中野氏を公認するなど、言語道断である。橋下氏は、代表としてこの責任をとるというのか。

何故、名誉毀損で告訴しないのか?

2月9日夕、柏原近鉄国分駅前で、大阪維新の会橋下代表が街頭演説をした時、市民の方から「週刊文春」に掲載された中野氏の事が扱われていた。橋下代表は「文春の記事は嘘

市民の声

「かしわら見張り番」に寄せられた市民の方からの声をご紹介します。

中野隆司氏は、何故「週刊文春」を告訴しないのか。柏原市民の長として、柏原市民に対して、説明責任があるのではないのか!

「テレビや新聞で、あれほどたたかれた岡本市長の「後継者」として選挙に立った中野氏が当選した。岡本前市長はゴミ処分場で、柏原市の不利になるような密約を、議会にかけることなく勝手に結び、そのために、市民の水税が、ゴミ処分場の管理に使われることになってしまった。イノシシ処理場も、市民にその是非を問わずに勝手に進め、世間からたたかれた。こんな政策を進めた岡本前市長の「あとがき」を継いだのが、中野氏だ。着任前から、すでに体罰&セクハラ教師として、すでにマスコミにたたかれている。

中野氏の幹部(岡本氏の幹部でもある)が、「週刊文春」の記事は、事実無根で過去の事である。選挙後に名誉毀損で告訴すると言っていた。

当然である柏原市民のトップとして、今後4年間、市政を担ってゆくのであれば市民に対して説明責任があるはずである。ネット上で、「変態 中野隆司」と検索すれば800件近い情報が流されている。柏原市民として恥ずかしいことである。身の潔白を暗らすためにも告訴し、市民に報告すべきである。

縁故の市職員は即刻やめさせよ! 議員の数も減らし、報酬を下げるべきだ

「柏原市役所の職員には、明らかに岡本前市長の縁故と思われる職員がいる。失礼ながら、難しいといわれる公務員試験に合格したのか!?!というレベルの人たちだ。岡本氏が市長という権限を振りかざし、入れてきたコネ職員たちは、岡本氏の後援会の関係者である。仕事をしない、能力もない?という職員がいては、全体の士気が下がる。このままでは、柏原市の未来を考える優秀な志のある人たちが、活躍できないという土壌ができあがってしまう。

さらに、柏原市議会にもメスを入れるべきだ。赤字必至の柏原市は、人口に対して議員が多すぎる。なのに、昨年、議員報酬を上げたのは、市民として納得がいかない。なぜなのか!

議員の定数を減らし、なおかつ議員報酬は20%以上カットすべきである。新市長になる中野氏が、報酬30%カット、退職金50%カットと市民に公約をしたのだから、それぐらいは当然である。議員の多くは「自分愛」と言われている。

原発・放射能について考えよう!

放射能のがれき問題など、原発に関連する市民の方の意見を募集しています。みんなで作って考えていきましょう。

電話 072-977-5502
FAX 072-977-8782
〒582-0026 柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
info@kashiwara-miharan.com



はまうら佳子の元気が出るコラム

女性も政治に向いている

柏原市長選が終わりました。私も街頭演説などに奔走し、支持者の方から「はまうらさん、頑張ってるね」と声をかけられ、励みになりました。そして4591という票をいただきました。自分で言うのもなんですが、精いっぱい、柏原市民のために、と駆け回りました。これで最後という気持ちでぞめました。

政治とは、もともと生活を良くする、生活を守るためのもので、それは生活に密着して日々を過ごしている女性に向いていると思います(もちろん、同様に考えられる男性もいらっしゃいますよ!)。尼崎は2代続いて市長が女性です、滋賀県の嘉田知事もそうです。発言に納得させられることが多



約4600という票は、7万3000人という人口からいうと、わずか6%の支持率なのですが、投票に行かれた方の割合からいうと18%、約2割の方が、私を推してくださったわけですね。相手は、時の人の応援演説を武器にしていますが、私への約4600という支持率は、柏原市を愛し、本当に柏原市を何とかしたいという熱意の表れだと感じました。

柏原市は、市民病院やゴミ処理跡地など、数え切れないぐらいの問題を抱えています。この低成長時代に何を優先して、何を改革していくのか、真摯(しんしん)に向き合えるのは、女性のパワーを中心とする「柏原を愛する力」とだと思います。これから決めてあきらめず、みんなで柏原市を良くしていくではありませんか!